

飯島賢二の『恐縮ですが...一言コラム』

第186回 雑学 魚へん漢字講座 ~江戸家魚八

2007.1.28

出張帰りの新幹線の中で、最近読んだ文庫本『魚へん漢字講座』（江戸家魚八著、新潮文庫）詳細に読み取ると言った類の本ではないが、何となくペラペラと調べていたが、これが実に、面白かった。今回は、ただ只管^{ひたすら}、魚へん漢字のお勉強である。

上寿司一人前には、こんなネタがはいっている。幾つ読めるか...いかがだろう？

鮪、鮫、鮓、鯆、鮑、鮓、鯨、魷...とこんなところだろうか。順番に読んでみると、マグロ、コノシロ(コハダ)、コチ、アジ、アワビ、タコ、カレイ、イカ...である。

魚に冬がコノシロ、では、**鯖、鯀、鱈、鯢**、は...サワラ、カジカ、タラ、イワシ(鰯)と読む。以下、雑学として、いかがなものか??

寿司屋の湯飲み茶碗に出ている漢字が...**鮪(カマス)、魴(ホウボウ)、鮓(フグ)、鮓(シラウオ)、鯉(サケ)、鮫(サメ)、鯉(カズノコ)、鯉(サバ)、鮓(ボラ)、鯉(ムツ)、鯉(ニシン)、鯛(タイ)、鯉(スケトウダラ)、鯉(ブリ)、鯉(ヒラメ)、鯉(ハタハタ)、鯉(カツオ)、鯉(キス)、鯉(ハモ)、鯉(スズキ)**たまに見かけるものである。

川や湖の生き物も、もちろん魚へんだ。**鮓(アユ)、鯉(フナ)、鯉(ナマズ)、鯉(ドジョウ)、鯉(ワカサギ)、鯉(ウナギ)、鯉(マス)、鯉(イワナ)**などがある。海や川でも、ちょっとゴツイ生き物も、魚へんである。**鯉(トド)、鯉(クジラ)、鯉(イルカ)、鯉(チョウザメ)、鯉(シヤチ)、鯉(ワニ)、鯉(フカ)...**今回は雑学のコラムであった。失敬した。